

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：新山下二丁目保育所	種別：認可保育所
代表者氏名：小林 千恵	定員（利用人数）：90 名（98 名）
所在地：〒231-0801 横浜市中区新山下 2-3-1	
TEL：045-628-0819	
ホームページ： https://kyosaikai.jp/service/shinyamashita-hoiku/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 2005 年 4 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 神奈川県匡済会		
職員数	常勤職員：20 名	非常勤職員：23 名
専門職員	保育士 31 名	看護師 1 名
	管理栄養士 3 名	調理師 1 名
	幼稚園教員免許 1 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 6 室、調理室 1 室、事務室 1 室、職員休憩室 1 室、相談室 1 室、ホール	2026 年 3 月～4 月：保育室床塗り替え 2026 年 5 月：エアコン取り換え 2026 年 5 月：園庭改装→「物語の生まれる園庭」をテーマに改装中。 2026 年 6 月：築山整備

③理念・基本方針

法人基本理念：

- あらゆる人の尊厳を守り
- 常に人が人として文化的生活を営めるよう
- その自立に向けた支援に務める

目的：

- ・児童福祉法の本旨に基づき、乳児および幼児の健全な成長と発達を援助すること
- ・個別環境を踏まえ、保護者の育児支援をすること
- ・地域親子への子育てに関する情報発信、遊びの提供、育児相談の拠点であること

保育方針：

しなやかな心と身体を培い自立した子どもを育む

保育目標：

- ・心身ともに健康で思い切り遊べる子ども
- ・一人一人が、しっかり自己主張をしながら集団の中で工夫し、考えて行動できる子ども
- ・友達が大好きで思いやりのある心を持ち、感性豊かな子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

年間3千人が集う子育てひろばの運営や近隣小学校との定期交流を通じ、地域住民・自治体・他施設を結ぶ協働の架け橋です。

園を開放して人と情報を繋ぐ拠点を担う一方、園内では子ども一人ひとりの思いに深く寄り添う「少人数担当制保育」の実現に向けて熱心に取り組んでいます。

また、相談しやすい園長や主任をはじめとした、温かく風通しの良い職員体制も大きな強みです。家庭の悩みにも寄り添う安心の環境を整え、地域と保育士が手を取り合いながら、子どもたちにとって最善の質の高い保育を目指しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2026年1月8日（契約日）～ 2026年7月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2020年度）

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

●職員は理念に基づく目指す保育の方向性を共有し、連携して保育しています

保育理念に子どもの人権尊重を掲げ、職員会議や人権研修、日々の話し合いなど折に触れて取り上げ、確認しています。職員向けの事業計画の説明書類「新山下の保育」には、理念に基づく目指す保育実現に向けた進捗状況や取り組むべき課題が具体的に分かりやすく記載されています。「新山下の保育」は全職員に配付し、園長が説明しています。毎月の職員会議等だけでなく、子どもの姿で気になる事例があった時にはすぐに関係する職員間で話し合い、環境や関わり方の見直しをしています。話し合いの場を多く持ち改善に取り組む中で、子どもへの思いや保育の方向性が共有されていて、連携して保育にあたるチームワークができています。保育士は子どもの遊ぶ姿を優しく見守り、子どもの言葉に耳を傾け、子どもの気持ちに寄り添っています。子どもの状況によっては、職員間で密に声を掛け合って個別対応したり、担当する職員が入れ替わるなどし、ていねいに関わっていくことで安心・安全な雰囲気を作り出しています。

●一人ひとりの子どもが自分らしく落ち着いて楽しめるよう、環境整備に力を入れています

園では、子ども一人ひとりが落ち着いて園生活を楽しみ、主体的に遊びを広げられるよう環境整備に力を入れています。各保育室は視覚的に分かりやすい、子どもが見通しが持てるような環境設定がされていて、子どもの状況に応じて仕切りやテーブルを用いてコーナーを設置したり、小集団で活動できるよう場所を分けたりし、落ち着いて過ごせるような工夫をしています。廊下にはのんびりとくつろげるコーナーや人目を気にせずに一人でゆったりと遊べる個別のスペースも用意されています。

乳児は、子どもの小さな声や思いに保育士が耳を傾け、大切にされていることを実感しながら生活できるよう、個別や少人数で対応し、幼児は活動内容によってグループや小集団に分け、一人ひとりの子どもがその子らしさを発揮できるように支援しています。子どもが見通しを持てるよう生活の流れは固定していますが、行事や保育活動に子どもの興味や発信を取り入れ、主体的に取り組めるようにしています。

園は、保育理念に則り障がいなど様々な特性を持つ子どもを積極的に受け入れています。整えられた物的・人的環境の中、どの子どもも落ち着いて自分らしさを発揮し、生き生きと園生活を過ごしています。

●地域の親子に向けての子育て支援を積極的に行っています

運営方針に地域との関わり方について基本的な考え方を明記し、地域貢献に力を入れています。地域子育て支援事業としては、子育てひろば「まりんまりん」を常設しており、専任の職員を配置し、園庭開放、室内開放、絵本の貸し出し、給食レストラン&ママかふえや音楽遊びなどの交流行事を実施しています。育児相談にも随時対応し、地域の親子がいつでも遊びに来て、気楽に相談できる場所を提供しています。

また、園は地域の町内会に加入し、行事への参加や資源ゴミ回収への協力を行うとともに、園のおまつり、やきいも大会、運動会などの行事に地域住民を招待するなど、地域との交流を積極的に図っています。散歩や買い物での挨拶や会話、地域住民のボランティアとの交流のほか、地域の商店会とお祭りを共同開催して子どもたちが体操を披露したり、地域の老人ホームを訪問したりと交流する機会も多くあり、子どもたちは地域の人々に優しく見守られ、様々な経験をしています。

【さらなる取り組みが期待される点】

●働きやすい職場づくりの取り組みをさらに進めていくことが期待されます

園では、等級別育成計画を作成し、職員が将来の見通しを持って働ける環境を整備しています。また、職員一人ひとりの経験年数や育成課題に応じた研修受講計画があり、職員が望むスキルアップができる環境を整えています。働きやすい環境作りにも力を入れていて、16 週間の産前・産後休暇制度、育児支援金制度など福利厚生制度の充実に取り組んでいます。保育アプリの導入による ICT 化なども進めていますが、業務時間内に事務作業等を終わることができない場合もあり課題となっています。子どものためという職員の思いがあり業務の削減が難しい現状もありますが、簡略化できる業務の洗い出しや優先順位付け、子どもの状況に応じた事務時間の確保など、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場づくりを少しずつ進めていかれることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

市民セクターよこはまでの4回目の受審となります。年度おわり～年度はじめにかけての受審となり、予定より時間がかかってしまいましたが、日程等の変更に応じてくださり最後まで伴走してくださったスタッフの皆様に感謝いたします。

今回も受審を受けて、いろいろな視点から保育を見直せたこと、また常勤、非常勤を問わず全職員と認識を一致できるような時間を持てたことがとても有意義でした。

前回の受審からさらに、法人理念のもと「一人一人を大切に保育する」ということはどういうことなのかを掘り下げて考えた5年間でした。職員がそれぞれ子どもに真摯に向き合い心が響きあう丁寧なかかわり（人的環境）と遊びこめて生活しやすい場（物的環境）を勉強していたので、その結果が今回評価していただいた「どの子どもも落ち着いて自分らしさを発揮し、生き生きと園生活を過ごしている」という姿になっているのだと嬉しく思います。また、子どもたちの様子がその子なりに安定していっていることを職員も実感しているので、さらにより良い環境をチームワークよく考えてくれています。

逆に熱心なあまり、行事にまつわる時間や事務時間の保障をしきれず残業が発生しているので、優先順位から省けるものや簡素化できることを整理して、今以上に働きやすい職場を目指したいと思います。

また、新山下二丁目保育所は私立の神奈川県匡済会という社福の運営ですが、市有地でもあり中区としては広い園庭の環境にも恵まれているので、地域の子育て家庭をはじめ、あらゆる年代の方たちにとっても憩いの場となるような地域支援を続けていきます。

最後になりますが、保育所が良い雰囲気運営出来ていること、職員の離職が少ないことは、保護者の皆様のご理解とご協力があったことだと思い、日々感謝をしているところです。時間が許す限り、園運営に参画していただき、親子ともども充実した子育て時間を過ごしていただけるよう引き続き運営してまいりたいと思っています。

ありがとうございました。

新山下二丁目保育所 園長 小林千恵

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり